

高知県商工団体連合会 NO.828(50-12)
〒780-8035 高知市河ノ瀬町33
TEL088-832-4838 FAX088-832-3126
Eメール kosityoren@citrus.ocn.ne.jp
ホームページ http://kosityoren.web.fc2.com/
このニュースはホームページでもご覧になれます

高商連ニュース

共済会総会、幹部学校、全商連三役との懇談 県下7民商から43人が参加 9月15日・16日

■秋の運動・拡大状況 (9/17)

	拡大					成果 会員
	読者	会員	共済	婦人	青年	
安芸	0	0	0	0	0	0
香美郡	0	0	0	0	0	0
南国	0	1	2	2	0	1
高知	1	1	1	2	0	0
仁淀川	0	0	0	0	0	0
須崎	0	0	0	0	0	0
中村	4	0	1	0	0	3
計	5	2	4	4	0	4

成果会員: 読者か会員を拡大した会員(紹介含む)

【新年度役員】
理事長…森昭英(南国)
副理事長…竹内慶郎(香美郡)
 高山健夫(高知)
 上岡孝雄(仁淀川)
会 計…仲井誠(高知)
専務理事…入江博孝(高知)
※全員再任です。

高商連共済会は、9月15日(土)に第34回定期総会を、高知城ホールで、33人の代議員、評議員の参加で開催しました。当初、7月29日開催予定でしたが、台風12号の高知接近のため延期していたもので、午後からの幹部学校との関連で、短時間での開催となりました。昨年8月にスタートした県独自の祝金が大変歓迎されていることと、また、全商連共済会の「事業承継のための75歳超の会員・配偶者の加入継続措置」など、助け合い共済の魅力が強調され、加入者拡大が訴えられました。健診活動の推進、アスベスト被害の学習や被害者の掘り起こしをすすめるなどの方針が確認されました。

幹部学校で基本方向・方針を学び、活動交流



9月15日(土)・16日(日)に、高知城ホール(1日目)と婦人会館(2日目)で、「高商連2018年幹部学校」を開催しました。7民商から、38人の役員・事務局員が参加。

1日目は、開校式の後、情勢学習として革新懇主催の「沖縄連帯集会」に参加しました。「大変厳しい戦いだ、翁長前知事の遺志を受け継ぐ玉城デニー氏の当選で辺野古に新基地は作らせない」、沖縄

知事選挙は「沖縄の誇りと日本の将来をかけた戦い」であることを学びました。夜の意見交流・懇親会では、加賀茂全商連副会長を交え、日ごろの労をねぎらい、沖縄県知事選挙のこと、阪神淡路大震災や東日本大震災の時、風呂をつくったり、船を贈った広島県連の活動や、全国の民商の救援活動などを語り合い、「助け合い・励ましあう民商運動」の素晴らしさを再認識しました。

2日目は午前中は、東谷会長、入江事務局長、竹内県共済会副理事長が講師となり、「民商・全商連運動の基本方向」「全商連方針」「規約」「民商・全商連共済」の学習を行いました。

午後は、2つの班に分かれ分散会。「安芸民商」としては、清水の舞台から飛び降りるつもりで予算もかけて宣伝に打って出た経過」と「香美郡の班を中心とした活動、6月に開いた班長・副班長交流会」のリード発言をうけて、活動交流、討論を行いました。

全商連副会長講師に 全商連総会方針と「成長・発展目標」の具体化学習

全商連は、三役を講師とした学習会および、県連役員との懇談を呼びかけています。

今回の幹部学校の中に、学習と懇談の場を設けました。

加賀茂全商連副会長は、67年の民商全商連が果たしてきた役割を振り返り、「税務権力と正面から闘っているのは民商だけ。中小業者の要求を行政、政府に突き付けることができるのは、財政的にも組織的にも自主自立しているから。2021年の全商連創立70周年を30万読者、20万会員で迎えるため、様々な要求実現活動と拡大運動を結合してすすみましょう」と呼びかけました。



クロネコヤマトの引越し・水増し請求の実態を語る ②

その後も不正が続き、私は再三にわたってこの問題を社内で告発しましたが、とりあげてもらえません。やがて定年を迎え、定年延長で普通の社員になった時、私が内部告発で不正をたどした社員が新しい支店長としてきました。

それから嫌がらせが始まりました。高知から室戸へ行って、本山へ行き、さらに梶原へ行って帰って来ると夜中の12時を過ぎるような配達をさせられ、腰を痛めることになりましたが、不正に対しては「このままでは会社はつぶれるよ」と言ってきました。でもみんなやっているからと相手にされませんでした。取引先の会社から100万円単位のお金をだまし取ってなんで栄転するのか。そんな会社どこにありますか？

その後2017年11月に退職し、今年2月、何とか是正できないかと四国運輸局へ行き相談。あちこち行きましたが、どこも対応できないと言われ、結局うやむやになるのかと思っていた時、ある方が国会議員に手紙を書いてくれました。そして秘書の方から連絡があり、高知まで来てくださいます。話をしたところ、これは大変なことだ。表に出さないと、ここから事が大きくなって、いろんな方々から協力を頂いて7月2日の記者会見を開き、新聞やメディアがとりあげてくれることになりました。

ヤマト側も記者会見を開きましたが、当初、組織ぐるみの不正を否定していましたが、ところが今、新聞などで報道されています。ヤマトの社内会議の中で香南市の企業との取り引きについて「150人の引越を1人10万円とれば1500万円上乗せできる」といった生々しい証言をしてくれる方が出て来てくれました。

この証言で不正が会社ぐるみ組織ぐるみであったことが判明してきました。(つづく)